

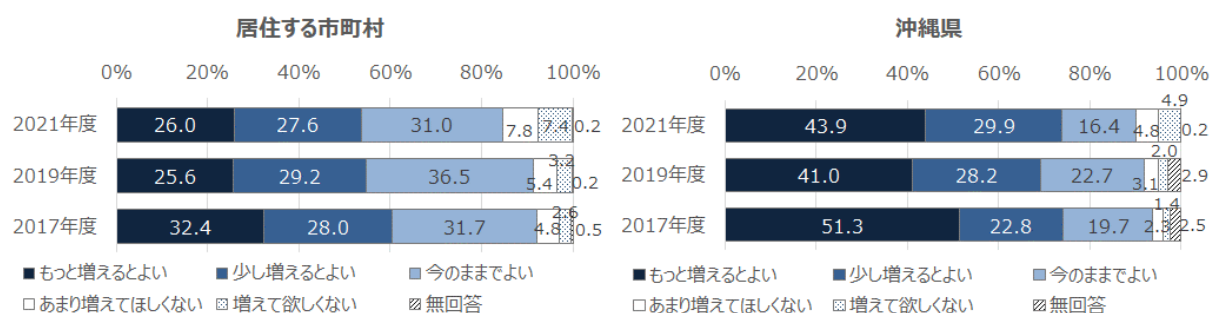
2. 沖縄観光に対する意識

(1) 日本人観光客の来訪に対する考え

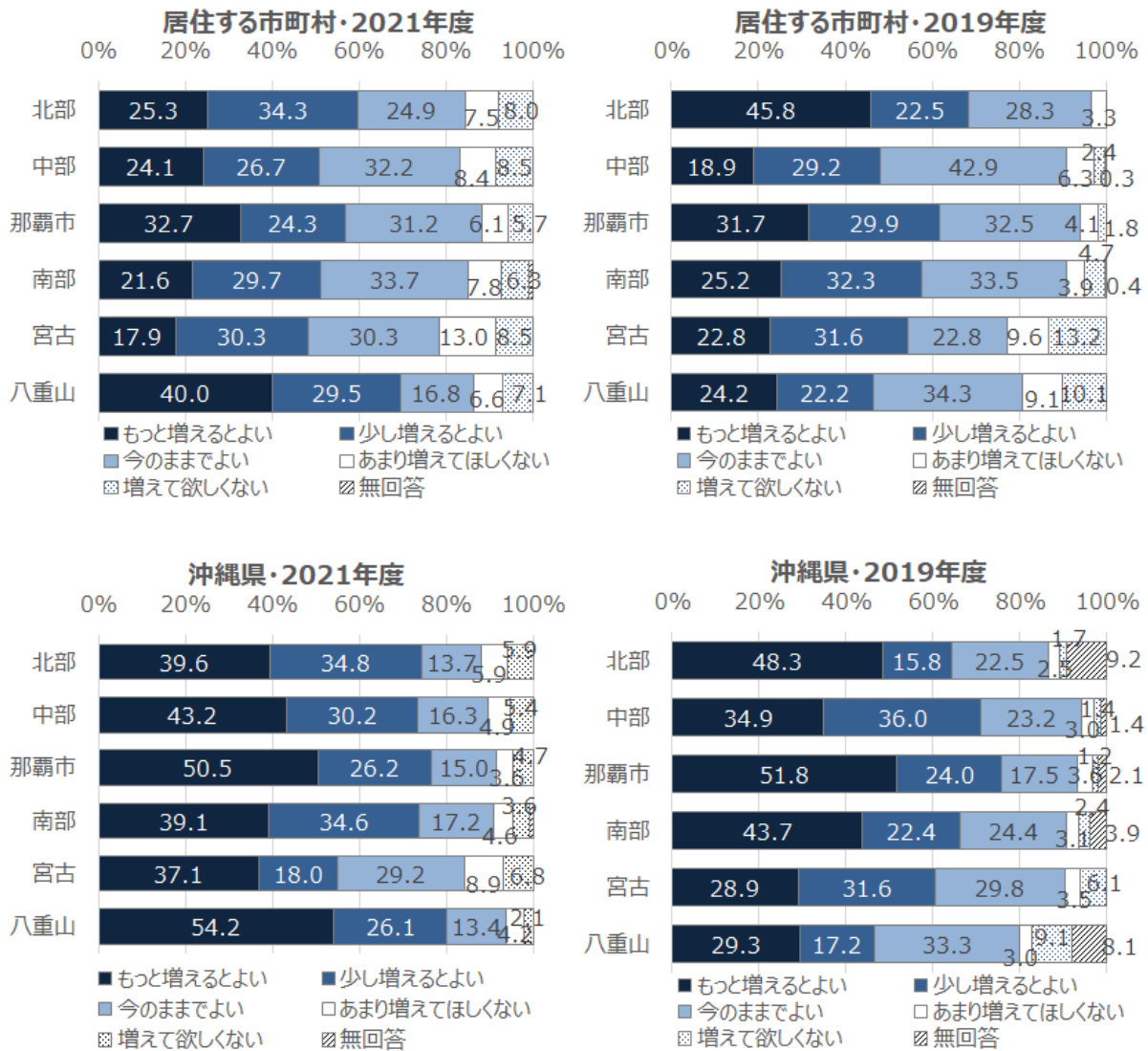
Q12 あなたがお住まいの地域や沖縄県を訪れる日本人観光客が、今後もっと増えるとよいと思いますか。

- 日本人観光客の来訪に関して、沖縄県全体としては「増えて欲しい層（もっと増えるとよい＋少し増えるとよい）」が73.8%を占めるのに対し、自分が居住する市町村については「増えて欲しい層」は53.6%に留まる。沖縄県としては増えて欲しいが、居住市町村は今のままでよい、といったギャップがみられた。前回調査と比べると、沖縄県の「増えて欲しい層」が増加した。
- 地域別にみると、居住市町村への来訪に対して「もっと増えるとよい」と回答した割合は、“八重山”で40.0%と最も高く、次いで“那覇市”の32.7%であった。また、沖縄県への来訪に対しても、「もっと増えるとよい」と回答した割合は、“八重山”で54.2%、“那覇市”で50.5%と高い。いずれの地域も居住市町村への来訪と比べると、高い割合となった。なお、前回調査と比べると「増えて欲しい層」は、居住市町村、沖縄県ともに“宮古”で減少し“八重山”で増加している。
- 性別では、居住市町村、沖縄県ともに、男女による大きな差はみられないが、“女性”のほうが、「増えて欲しい層」がやや多い。
- 年代別では、居住市町村への来訪に対して“10代”で「もっと増えるとよい」と回答した割合が高い。沖縄県への来訪に対しては、“10代”と“50～60代”で「もっと増えるとよい」と回答した割合がやや高い。
- 観光客と接する機会別では、“日常生活のコミュニケーション”で接している層で「増えて欲しい層」が高い。一方「増えてほしくない」と回答する割合は“日常業務の一環”で接している層で比較的高い。
- 観光客を見かける頻度別にみると、“よく見かける”人ほど「増えて欲しい層」が高く、見かける頻度の低下にともない、増加希望意向も低下している。この傾向は、特に居住市町村において顕著であった。

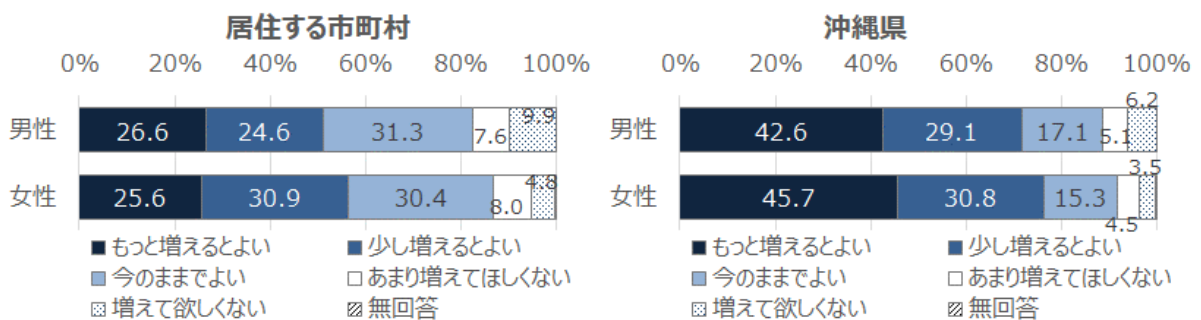
図表 2-1-1 日本人観光客の来訪に対する考え



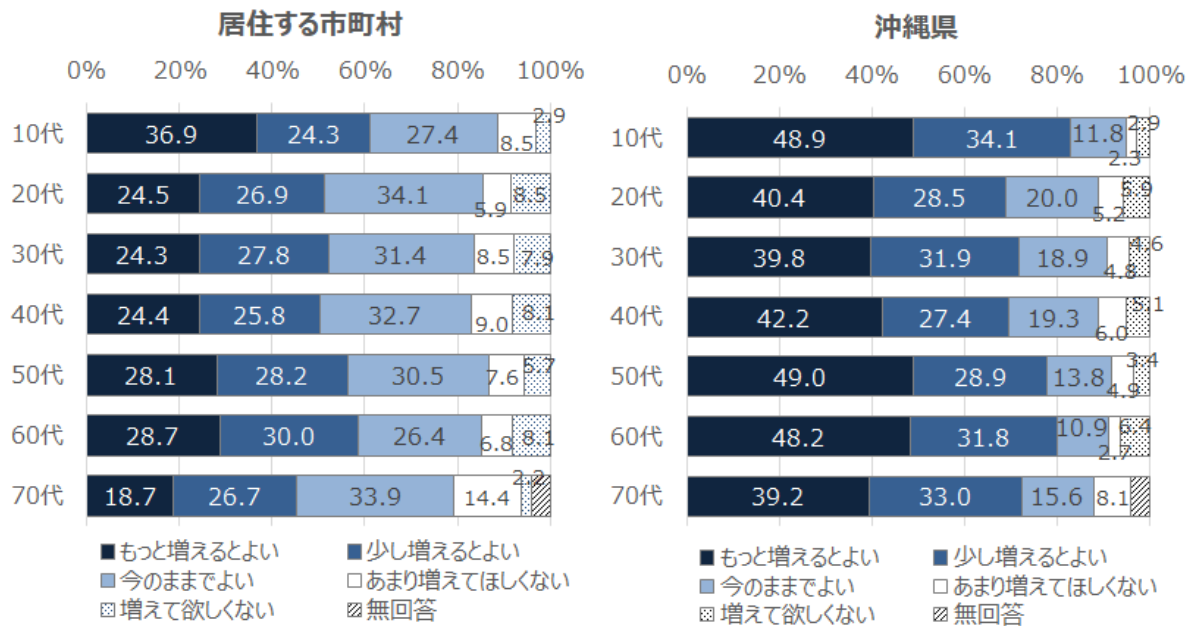
図表 2-1-2 日本人観光客の来訪に対する考え（地域別）



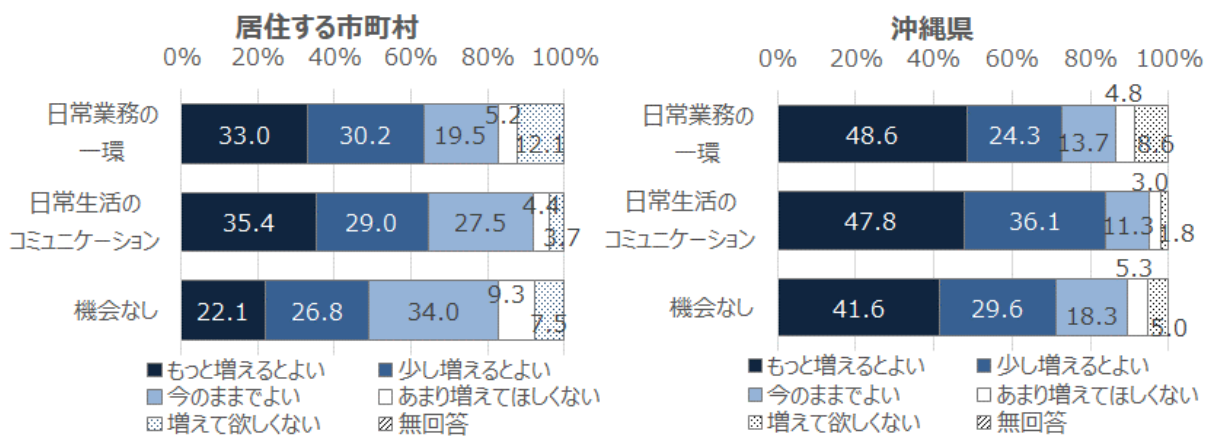
図表 2-1-3 日本人観光客の来訪に対する考え（性別）



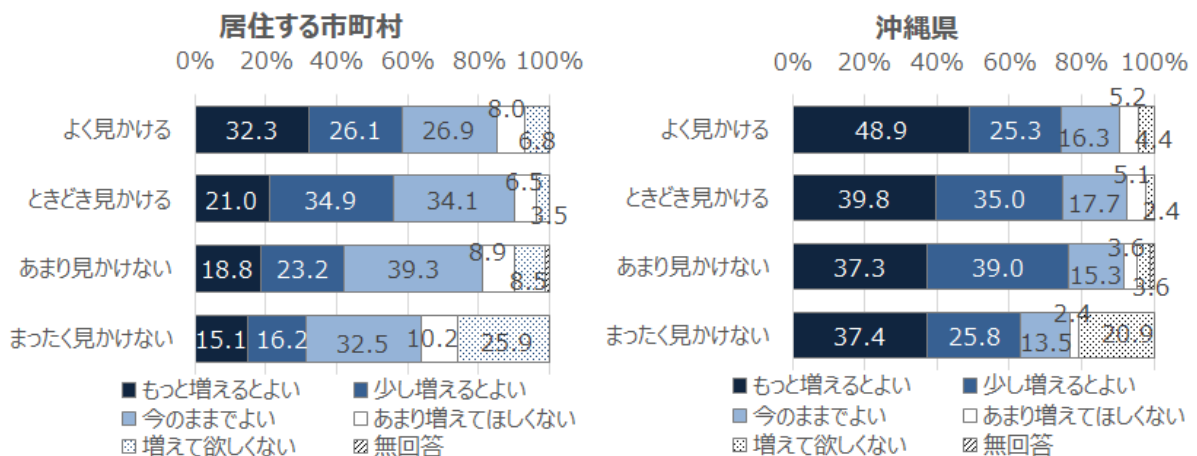
図表 2-1-4 日本人観光客の来訪に対する考え（年代別）



図表 2-1-5 日本人観光客の来訪に対する考え（観光客と接する機会別）



図表 2-1-6 日本人観光客の来訪に対する考え（日本人観光客を見かける頻度別）

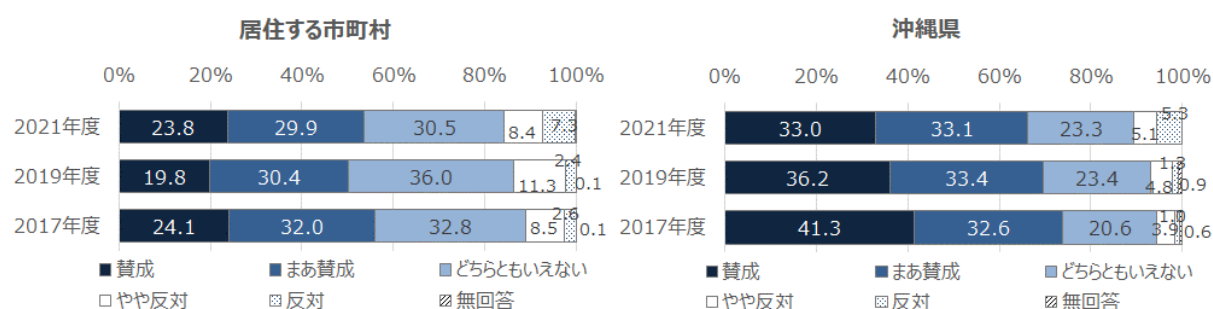


(2) 外国人観光客の来訪についての賛否

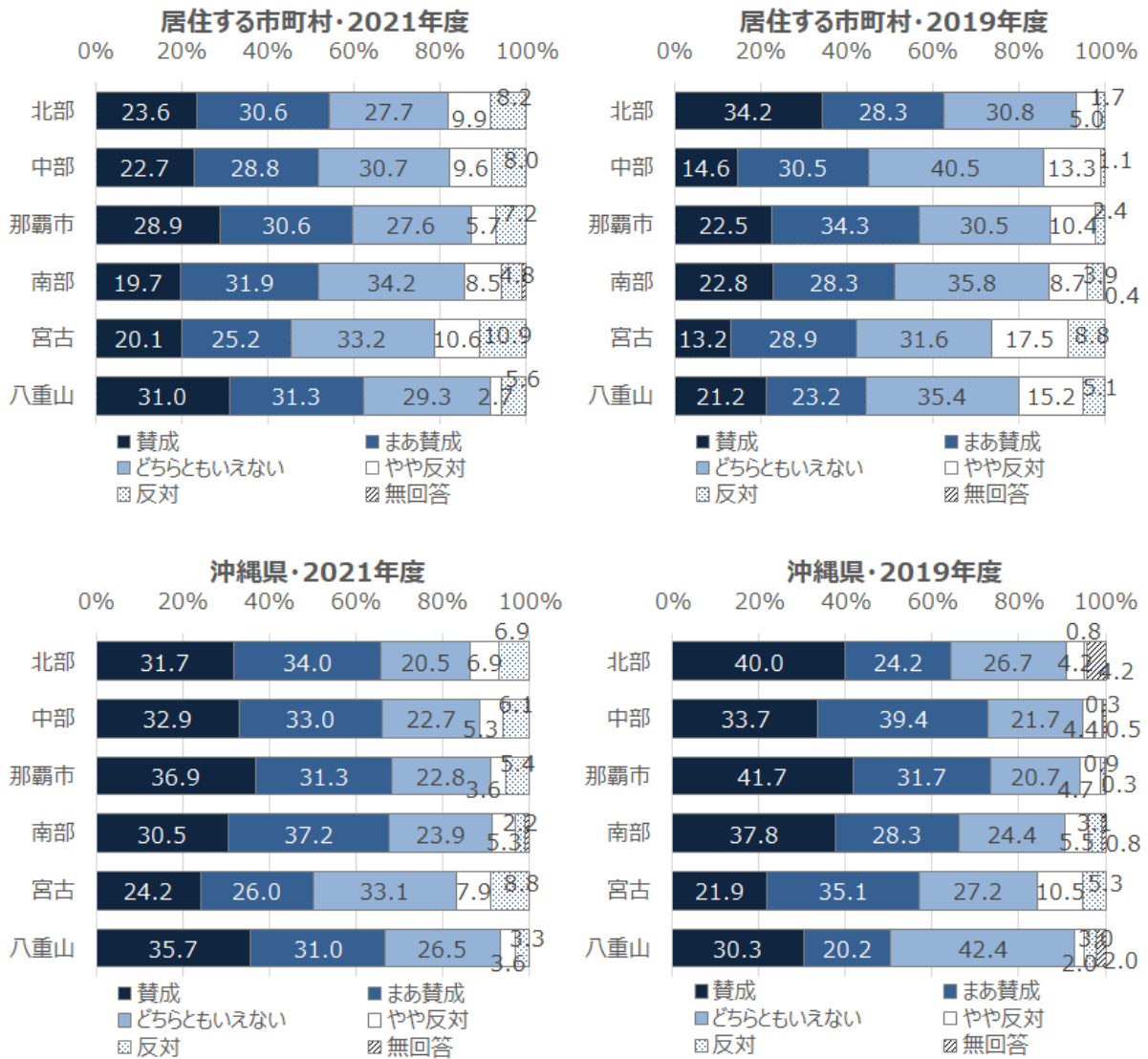
Q13 あなたがお住まいの地域や沖縄県へ外国人観光客が訪れることについてどうお考えですか。

- 居住地域への外国人観光客の来訪についての賛否では、「賛成派（賛成+まあ賛成）」53.7%、「反対派（やや反対+反対）」15.7%であった。沖縄県全体としては「賛成派」が66.1%を占めた。日本人観光客同様、外国人観光客についても、沖縄県全体と居住地域とではギャップがみられた。前回調査と比べると、沖縄県全体、居住地域ともに「反対派」が増加した。
- 地域別にみると、居住する市町村への来訪に対して「賛成派」が最も多いのは“八重山（62.3%）”であり、最も少ないのは“宮古（45.3%）”であった。“宮古”では「反対派（21.5%）」も他地域に比べて多い。一方、沖縄県への来訪に対しても、“宮古”で「賛成派」が少なく（50.2%）、「反対派」が多い（16.7%）。前回調査と比べると、居住市町村、沖縄県ともに“八重山”では「賛成派」が増加した一方、“北部”では「反対派」が増加した。
- 性別では、居住市町村について、女性のほうが「賛成派」が多い。
- 年代別では、居住市町村、沖縄県ともに、“10代”で「賛成」が多く、“30～50代”と“70代”で少ない。
- 観光客と接する機会別では、“日常生活のコミュニケーションで接している”で「賛成派」が多い。
- 観光客を見かける頻度別にみると、“よく見かける”人ほど「賛成派」が多く、見かける頻度の低下にともない、「賛成派」が減少している。この傾向は、日本人観光客同様、特に、居住市町村において顕著であった。

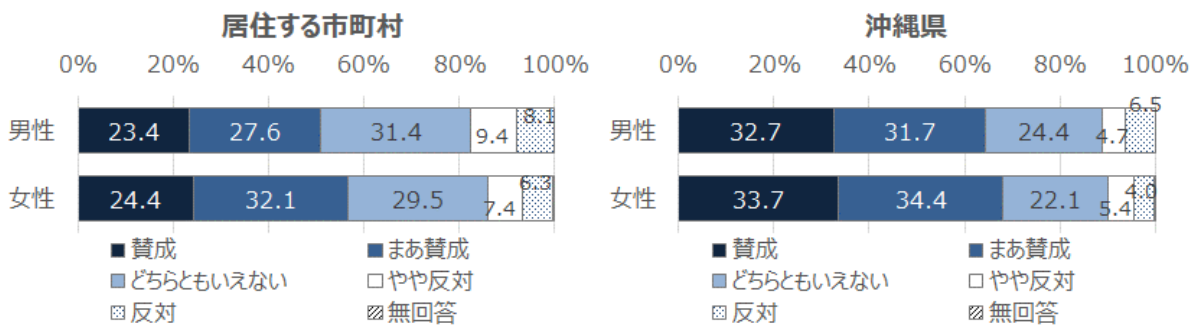
図表 2-2-1 外国人観光客の来訪についての賛否



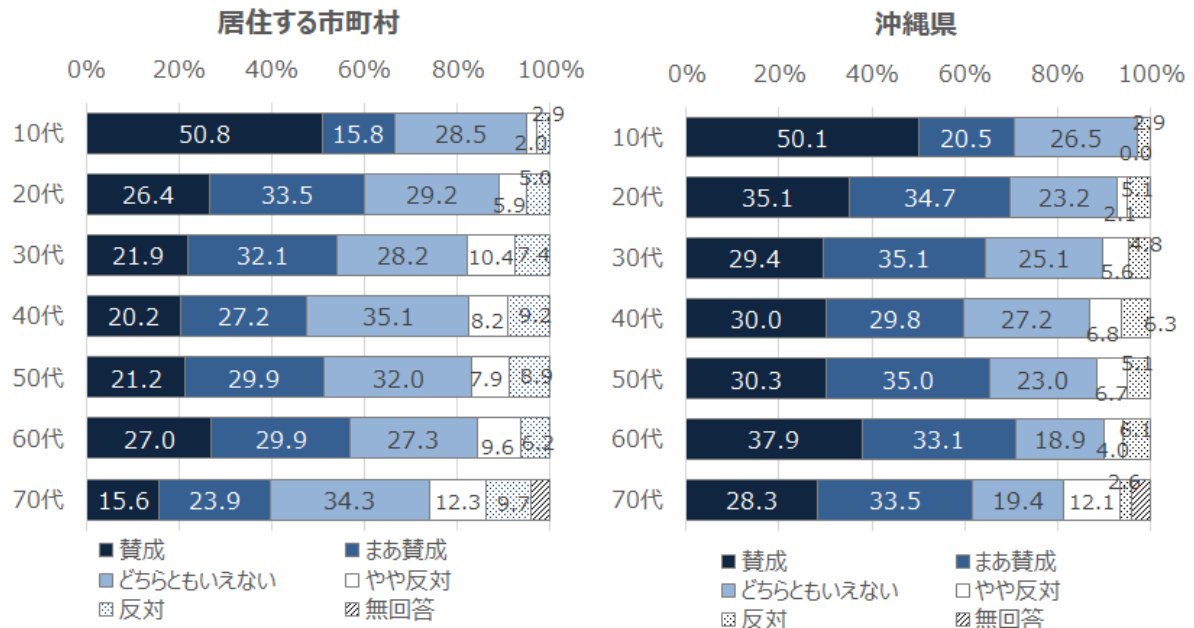
図表 2-2-2 外国人観光客の来訪についての賛否（地域別）



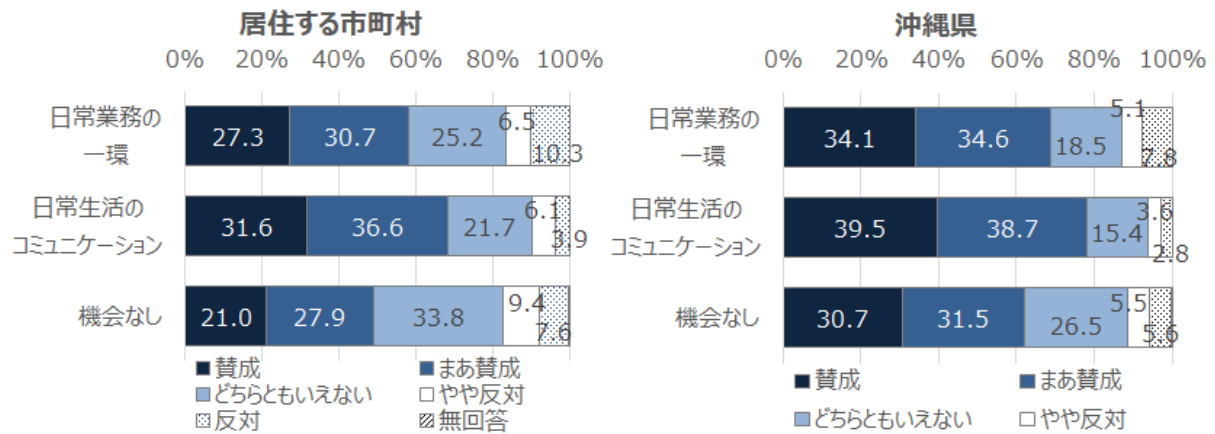
図表 2-2-3 外国人観光客の来訪についての賛否（性別）



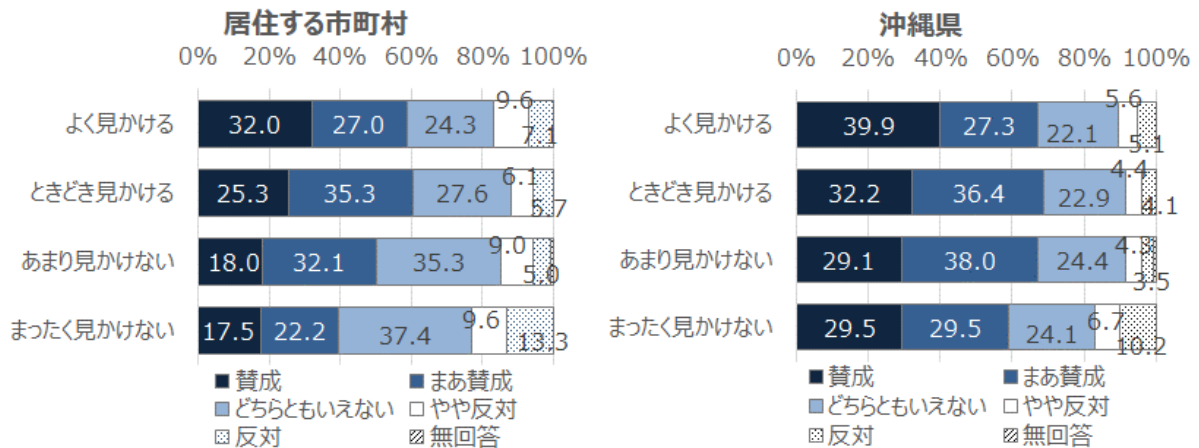
図表 2-2-4 外国人観光客の来訪についての賛否（年代別）



図表 2-2-5 外国人観光客の来訪についての賛否（観光客と接する機会別）



図表 2-2-6 外国人観光客の来訪についての賛否（外国人観光客を見かける頻度別）

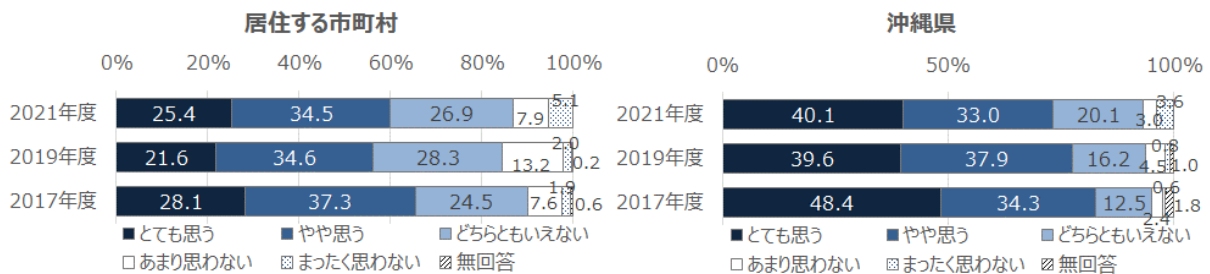


(3) 観光の発展への期待

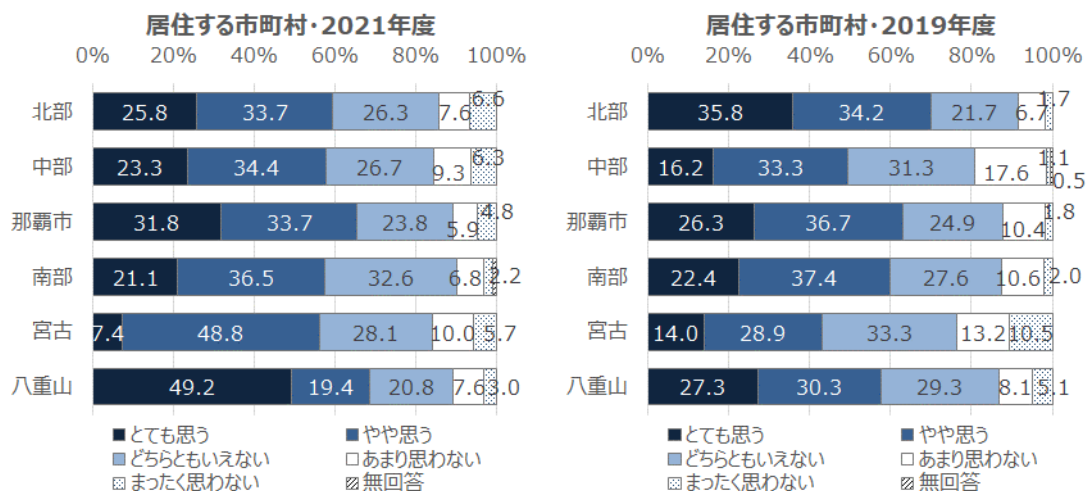
Q14 あなたがお住まいの地域や沖縄県の観光が、もっと盛んになるといいと思いますか。

- 居住地域の観光の発展を期待する人の割合は「期待する派(とても思う+やや思う)」が 59.9% を占め、「期待しない派(あまり思わない+まったく思わない)」の 13.0%を大幅に上回った。沖縄県全体としては「期待する派」が 73.1%を占めており、観光の発展への期待は大きい。前回調査と比べると「期待する派」は、居住市町村についてはやや増加し、沖縄県についてはやや減少した。
- 地域別でみると、“那覇市”や“八重山”において「期待する派」が多い。特に“八重山”では「(観光がもっと盛んになるといいと) とても思う」と回答した割合が居住地域、沖縄県ともに5割前後を占める。
- 性別では、居住市町村、沖縄県ともに、“女性”のほうが「期待する派」がやや多い。
- 年代別では、居住市町村、沖縄県ともに、“10代”からの期待が大きい。
- 観光客と接する機会別では、“日常生活のコミュニケーションで接している”人からの期待がやや大きい。
- 観光客を見かける頻度別にみると、居住市町村においては、日本人・外国人ともに、“よく見かける”人ほど「期待する派」が多く、見かける頻度の低下にともない、「期待する派」が減少している。

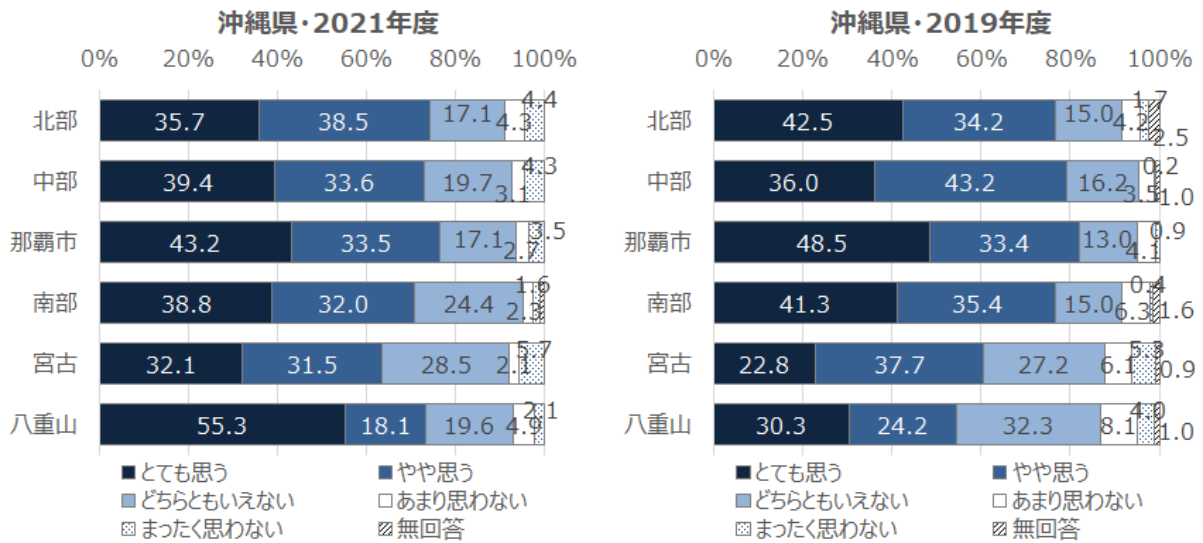
図表 2-3-1 観光がもっと盛んになるといいと思うか



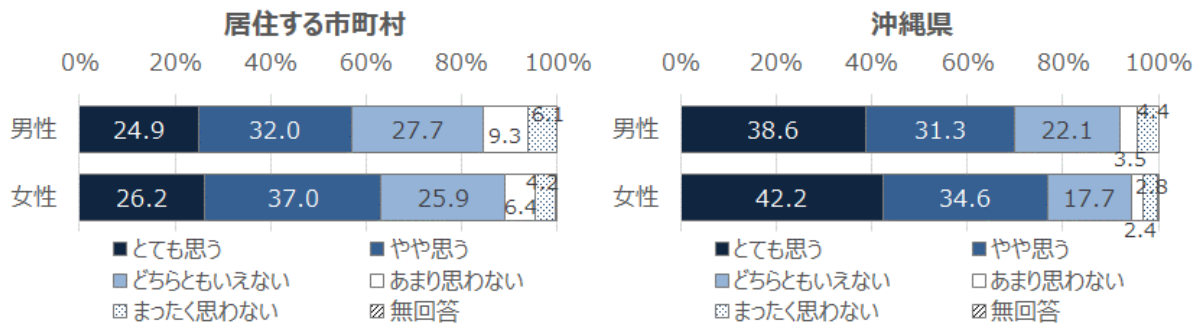
図表 2-3-2 観光がもっと盛んになるといいと思うか（地域別）



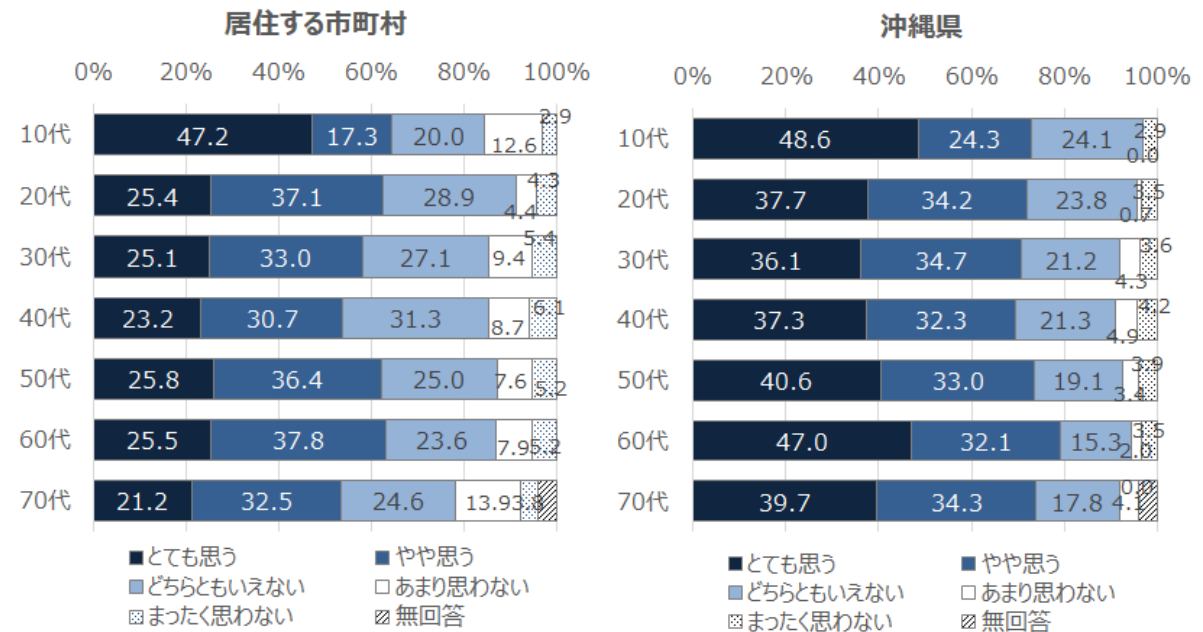
図表 2-3-2 (つづき) 観光がもっと盛んになるといいと思うか (地域別)



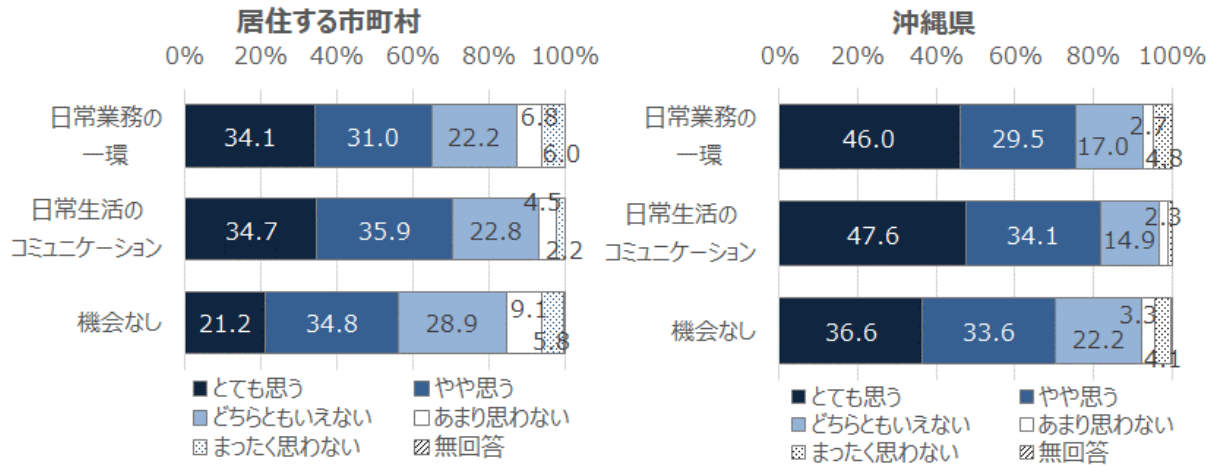
図表 2-3-3 観光がもっと盛んになるといいと思うか (性別)



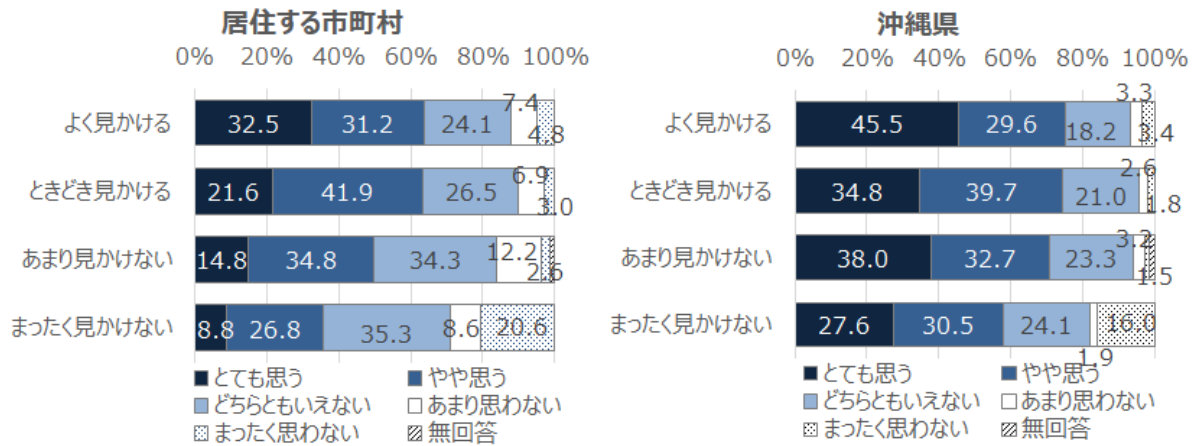
図表 2-3-4 観光がもっと盛んになるといいと思うか (年代別)



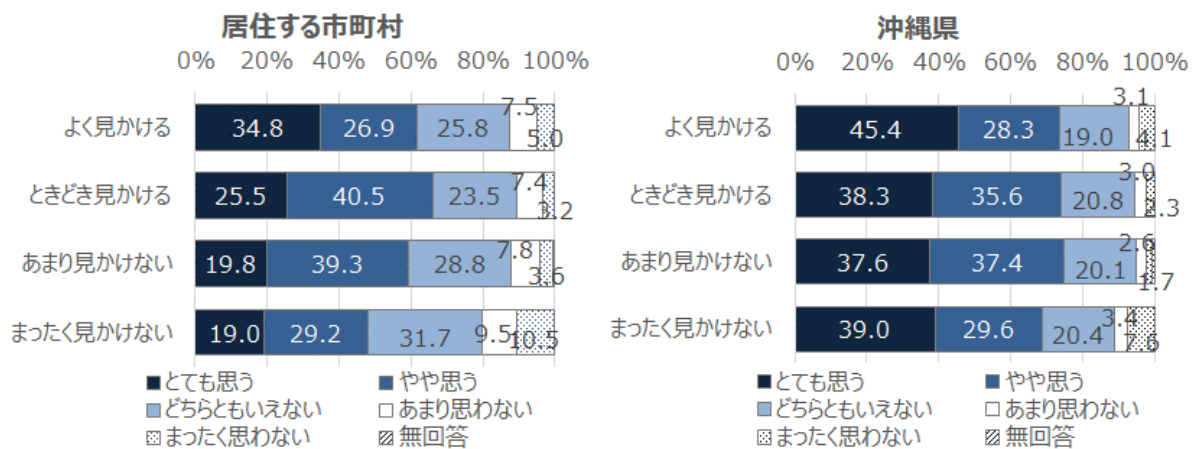
図表 2-3-5 観光がもっと盛んになるといいと思うか（観光客と接する機会別）



図表 2-3-6 観光がもっと盛んになるといいと思うか（日本人観光客を見かける頻度別）



図表 2-3-7 観光がもっと盛んになるといいと思うか（外国人観光客を見かける頻度別）

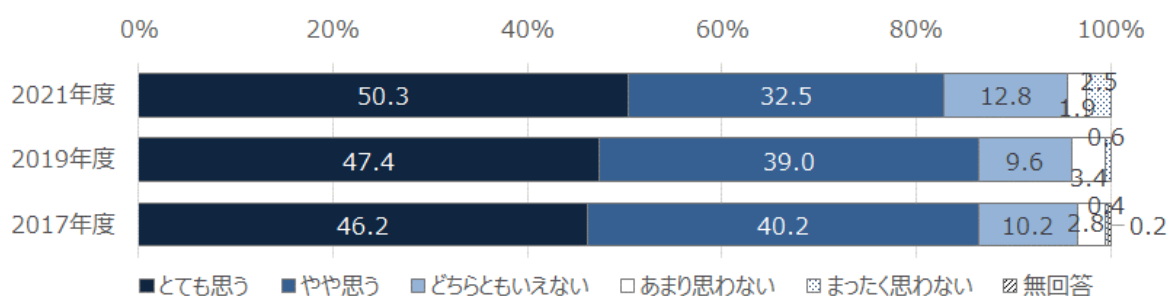


(4) 沖縄の発展における観光の重要性

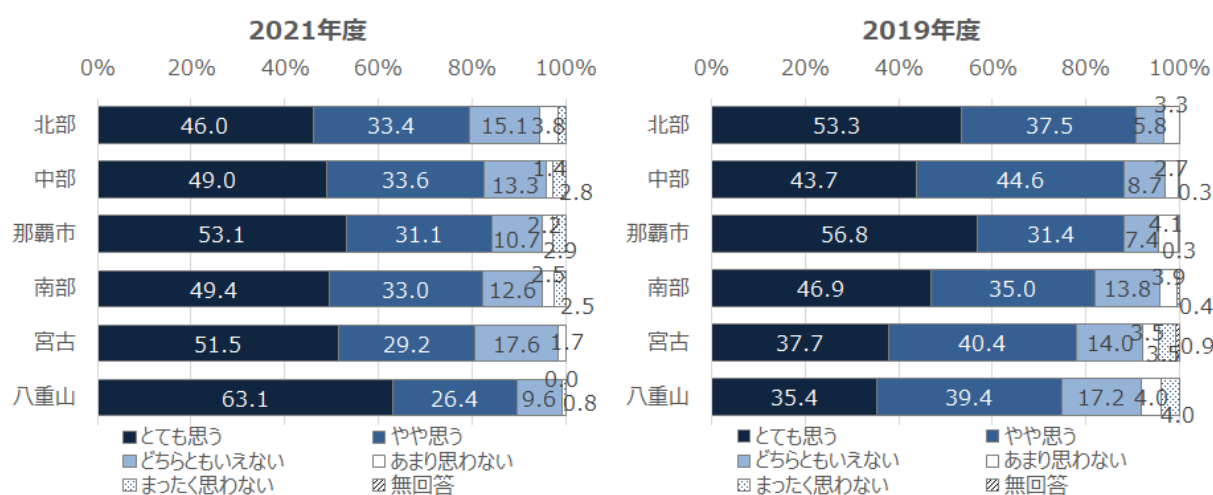
Q5 沖縄県の発展には、観光が重要な役割を果たしていると思いますか。

- 沖縄の発展に観光が重要な役割を果たしていると思うか尋ねたところ、「とても思う」が50.3%と約半数を占めた。「やや思う」を加えると、82.8%の人が観光の重要性を評価している。前回調査と比べると「とても思う」がやや増加した一方、「やや思う」が減少したことで、「とても思う」に「やや思う」を加えた比率はやや減少した。
- 地域別で見ると、特に“八重山”で「とても思う」割合が高い。「やや思う」まで含めると、“八重山”では約9割が観光の重要性を高く評価している。前回調査との比較においては、“八重山”で「とても思う」割合が増加している一方、“北部”においては減少した。
- 性別では、女性の方が観光の重要性をやや高く評価している。
- 年代別では、“10代”や“60代”が高く評価している。
- 観光客と接する機会別では、“日常生活のコミュニケーションで接している”人がより高く評価している。
- 「やや思う」まで含めると、地域、性別、年代、機会別のいずれの属性でも7.5~9割が観光の重要性を評価しており、観光が担う役割について共通の認識が形成されていると考えられる。

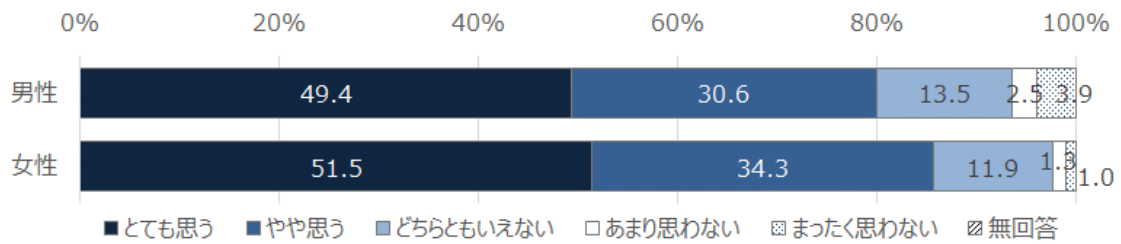
図表 2-4-1 沖縄の発展に観光が重要な役割を果たしていると思うか



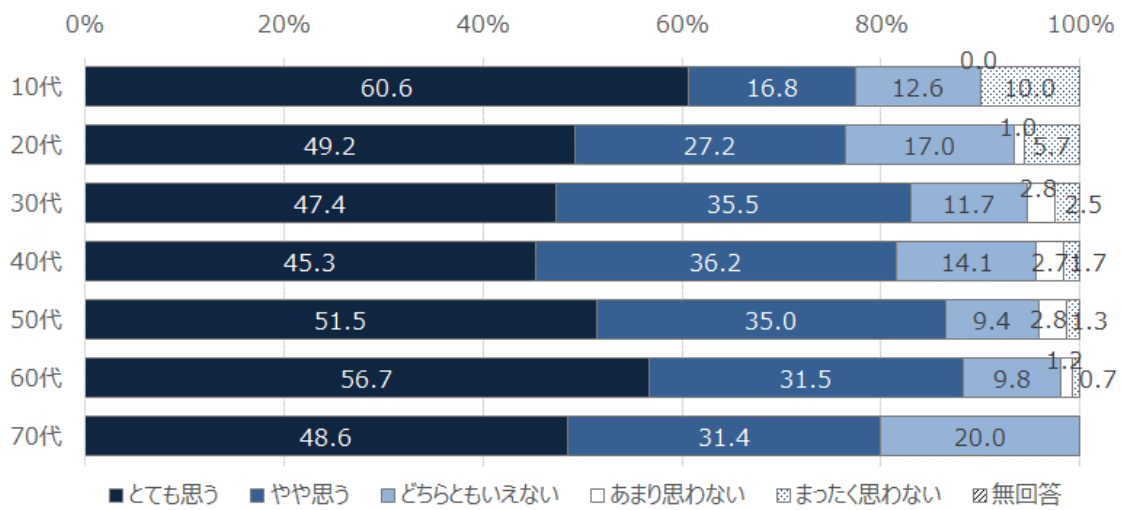
図表 2-4-2 沖縄の発展に観光が重要な役割を果たしていると思うか（地域別）



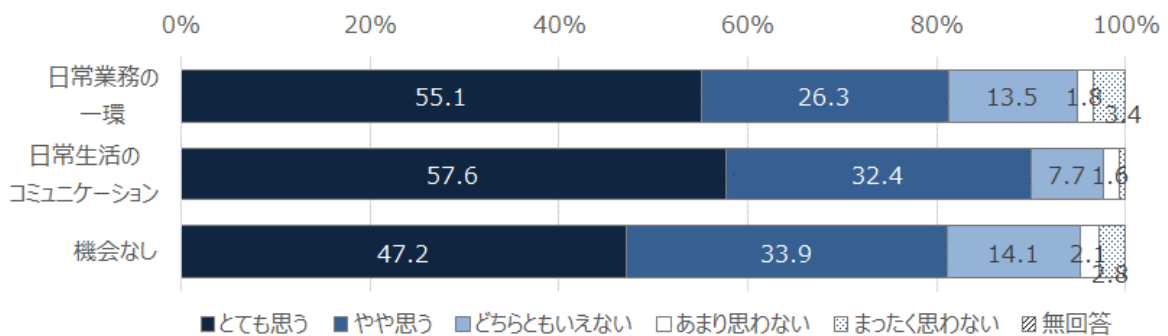
図表 2-4-3 沖縄の発展に観光が重要な役割を果たしていると思うか（性別）



図表 2-4-4 沖縄の発展に観光が重要な役割を果たしていると思うか（年代別）



図表 2-4-5 沖縄の発展に観光が重要な役割を果たしていると思うか（観光客と接する機会別）

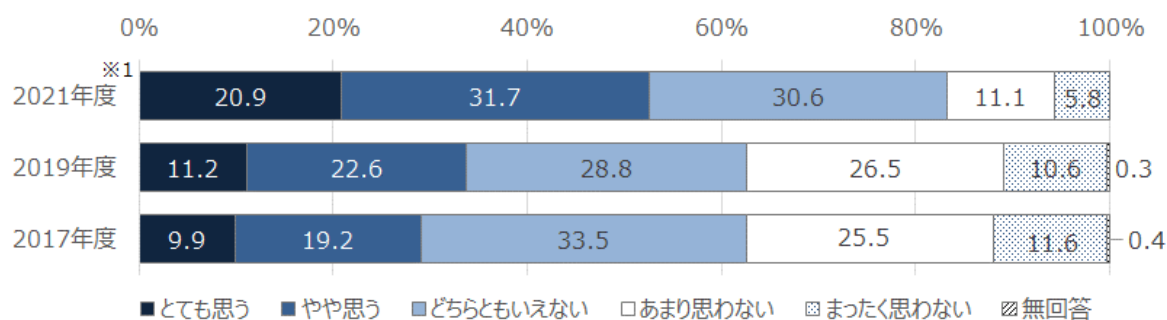


(5) 観光の発展と生活の豊かさとのつながり

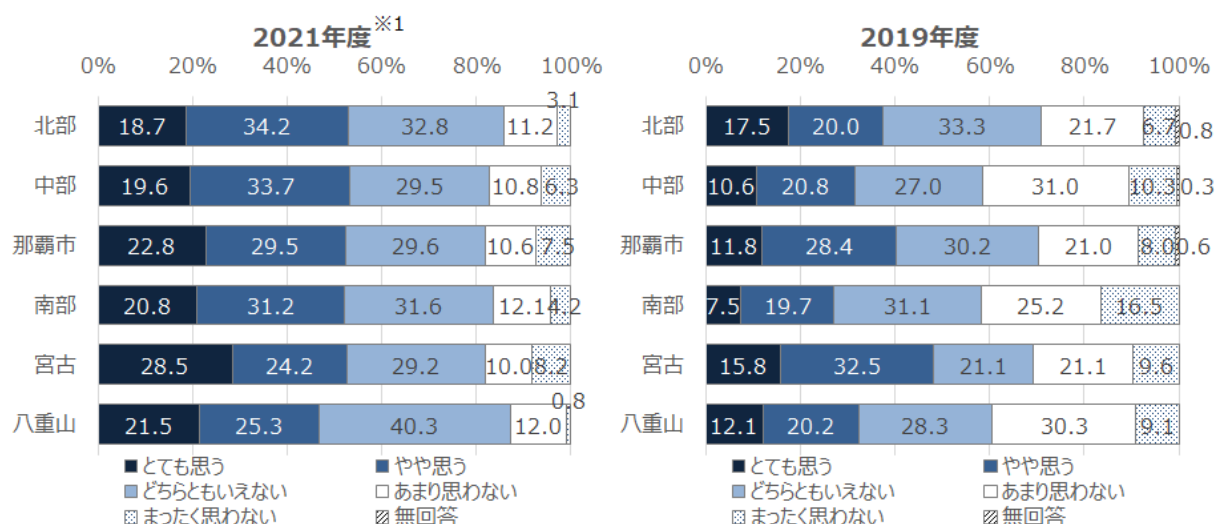
Q6 観光が発展すると、あなたの生活も豊かになると思いますか。

- 観光が発展すると自分の生活も豊かになると思うかについては、「とても思う」「やや思う」とあわせた値が 52.6%であり、約半数の人が生活の豊かさにつながっていると認識している。
- 地域別でみると、“宮古”で、観光の発展と生活の豊かさをリンクして捉える人がやや多い。
- 性別では、「とても思う」「やや思う」をあわせた値は女性の方がやや多い。
- 年代別では、若年層のほうが、観光の発展が生活の豊かさにつながると捉えている。
- 観光客と接する機会別では、“日常業務の一環”で接している人と“日常生活のコミュニケーション”で接している人は観光の発展が生活の豊かさにつながると捉えている。特に“日常業務の一環”で接している人は、「とても思う」と回答した割合が高い。

図表 2-5-1 観光が発展すると生活も豊かになると思うか

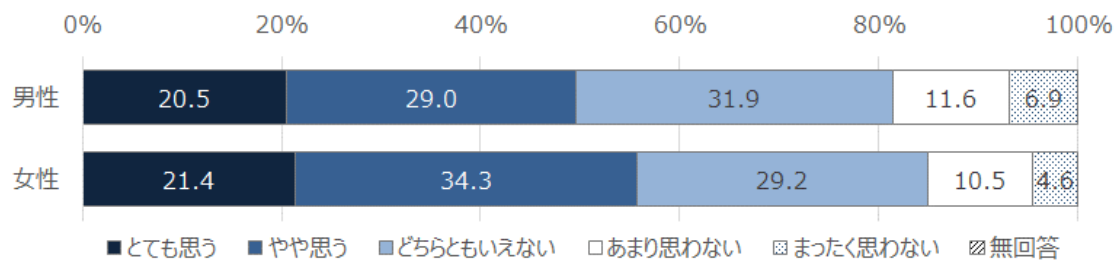


図表 2-5-2 観光が発展すると生活も豊かになると思うか（地域別）

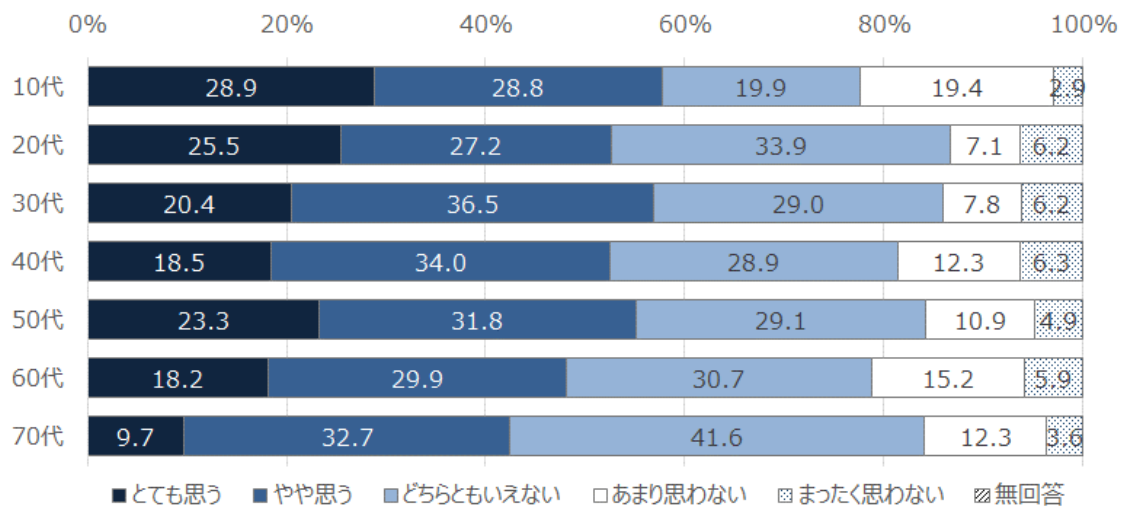


※1：2021年度調査より調査票において「観光が発展することで生じる様々な効果」を例示しているため、前回調査までの結果と単純に比較することはできない。

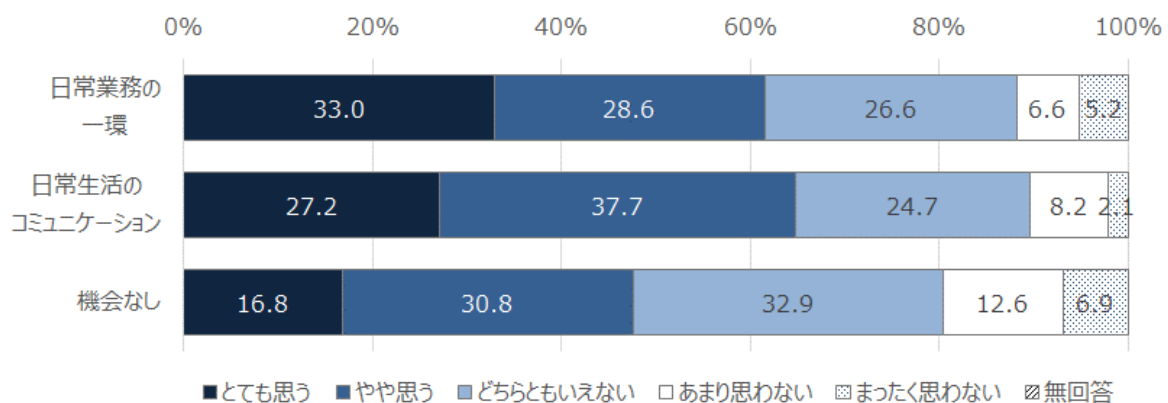
図表 2-5-3 観光が発展すると生活も豊かになると思うか（性別）



図表 2-5-4 観光が発展すると生活も豊かになると思うか（年代別）



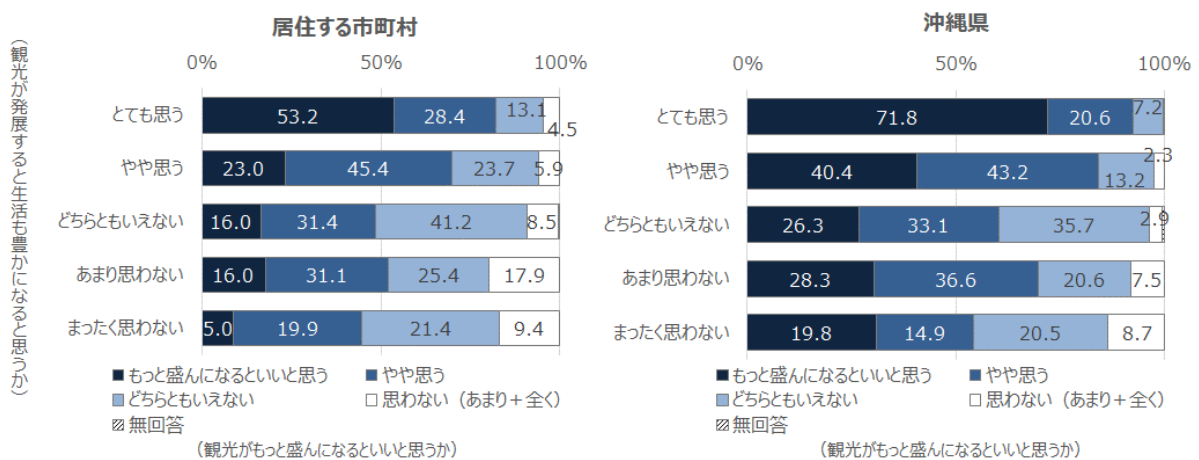
図表 2-5-5 観光が発展すると生活も豊かになると思うか（観光客と接する機会別）



コラム：観光の発展と生活の豊かさとのつながり×観光発展への期待

- 観光の発展が生活の豊かさにつながると感じる人は、観光発展への期待が大きく、つながりが感じられない人は期待が小さい。
- 観光発展を期待し、かつ、観光の発展が自身の生活の豊かさにつながると考える人は、観光客の来訪により「観光産業の発展」「インフラの整備」「人的・文化的交流の促進」といった影響があると考える人が多い。一方、観光の発展が自身の生活の豊かさにつながらないと思いつつ、観光発展を望んでいる人は、観光客の来訪による自身の生活環境への影響が特にないと考えている人が多い。

図表 2-5-6 観光の発展と生活の豊かさとのつながり×観光発展への期待



図表 2-5-7 観光の発展と生活の豊かさとのつながり×観光発展への期待×観光客による影響

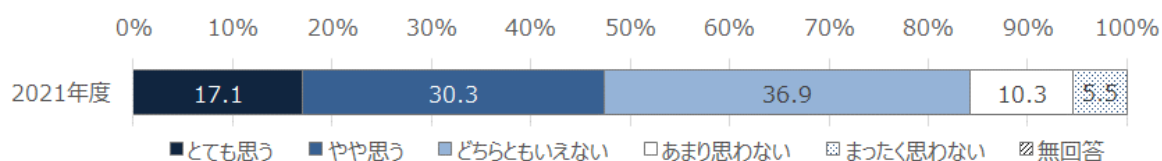
	観光の発展が自身の生活の豊かさにつながる		観光の発展が自身の生活の豊かさにつながらない	
	観光発展を期待する派	観光発展を期待しない派	観光発展を期待する派	観光発展を期待しない派
地域産業が発展する	55.0	34.8	30.9	11.0
混雑により、交通が不便になる	32.8	42.5	31.6	63.6
人的・文化的交流が促進される	35.6	25.8	15.9	8.0
インフラ（道路、施設等）が整備される	32.4	17.0	15.7	9.0
騒音やゴミの増加等により、生活環境が悪化する	19.1	37.2	14.1	51.4
地域住民が活躍する場が増加する	29.2	19.5	11.0	7.5
仕事が増える	30.2	9.3	7.7	6.6
地域の文化や自然が保存・継承される	20.8	25.9	8.1	3.4
治安が悪化する	11.7	32.8	12.4	43.3
地域の文化や自然に悪影響が出る	11.5	42.1	11.8	38.5
コンビニやスーパーが混雑し買物に支障がでる	11.1	17.8	13.6	41.4
誇りにつながる	17.6	15.0	4.2	1.1
物価が上昇する	10.7	20.4	8.5	19.5
街並みや景観が損なわれる	8.0	42.0	6.2	34.0
給料が増える	13.3	4.7	1.5	1.1
その他	0.4	0.0	0.6	3.9
特に影響はない	13.8	29.0	38.5	25.9

(6) 沖縄の発展と住民の幸福とのつながり

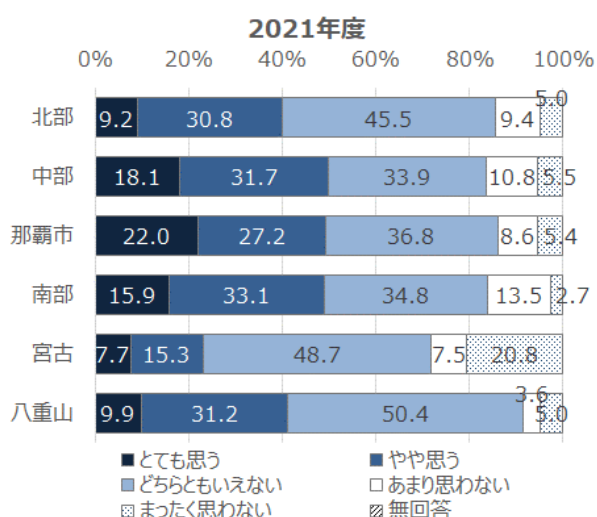
Q7 観光が発展する沖縄に居住することで、あなたは幸せを感じられると思いますか。

- 観光が発展する沖縄に居住することであなたは幸せを感じられると思うかについては、「とても思う」「やや思う」をあわせた値は 47.4%であり、5 割弱の人が幸せを感じられると認識している。
- 地域別でみると、“宮古”において、幸せを感じられると認識している人が少なく、「あまり思わない」「まったく思わない」を合わせた値（28.3%）が「とても思う」「やや思う」をあわせた値（23.0%）を上回る。
- 性別では、女性の方が幸せを感じられると認識している人が多い。
- 年代別では、年代が上昇するほど「あまり思わない」「まったく思わない」を合わせた値が増加する傾向にある。
- 観光客と接する機会別では、“日常業務や日常生活で接する”人は幸せを感じられると認識している。ただし「あまり思わない」「まったく思わない」を合わせた値は、“日常生活のコミュニケーションで接している”人よりも“日常業務の一環”で接している人の方が高い。

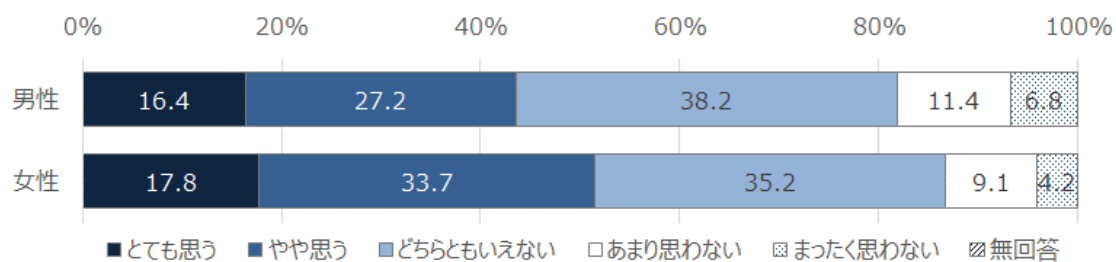
図表 2-6-1 観光が発展する沖縄に居住することであなたは幸せを感じられるか



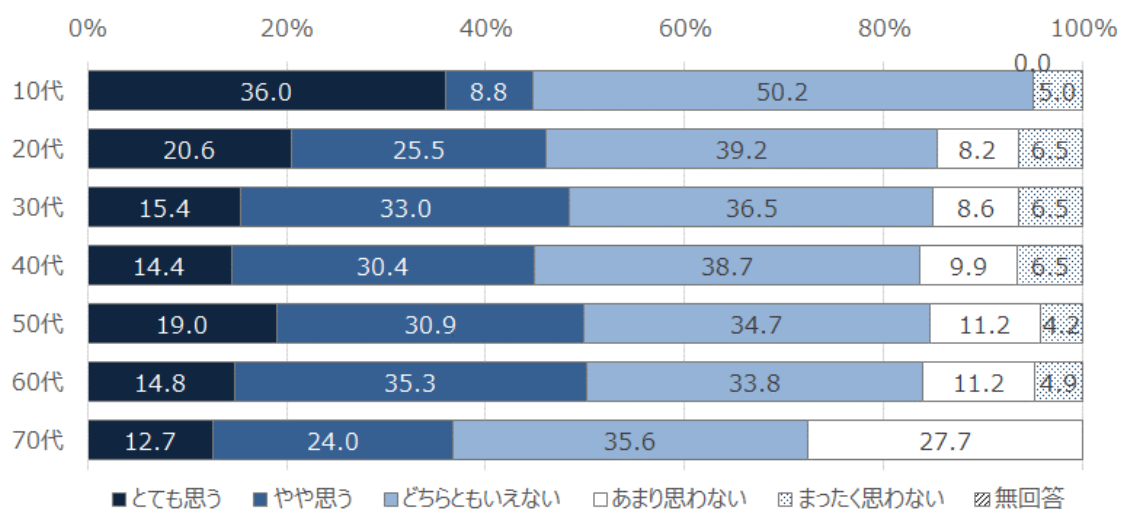
図表 2-6-2 観光が発展する沖縄に居住することであなたは幸せを感じられるか（地域別）



図表 2-6-3 観光が発展する沖縄に居住することであなたは幸せを感じられるか（性別）



図表 2-6-4 観光が発展する沖縄に居住することであなたは幸せを感じられるか（年代別）



図表 2-6-5 観光が発展する沖縄に居住することであなたは幸せを感じられるか（観光客と接する機会別）

